

Hiroshima Municipal 美鈴が丘高等学校 国際理数コース通信

2010年度 No.1 (2010年6月)

I 海外修学旅行について

国際理数コース海外修学旅行は、「海外の先端科学技術と大自然に触れられる所」を研修先とし、2007年度までは、実施時期：3月下旬、行き先「アメリカ（ヒューストン～グランドキャニオン）」で行って来ました。しかし、さまざまな状況から、2008年度より、実施時期：9月下旬～10月上旬、行き先「ハワイ」で行っています。今年度の2年生も9月26日～10月2日にハワイへ行きます。

ハワイ修学旅行になっても、研修先については検討を重ねてきましたが、再び行き先をアメリカ本土に戻すことに目処が付きましたので、来年度の修学旅行（現1年生）からは「アメリカ西海岸（ロサンゼルス～グランドキャニオン）」で準備を進めています。

<来年度からの海外修学旅行 研修先イメージ>

NASAの研究施設



グランドキャニオン



バロマー天文台

II 課題研究について

本コースの特徴である3年生での課題研究が今、ヤマ場を迎えています。2年生の後半からそれぞれの生徒は、担当の教員と課題研究のテーマを相談してきました。そして理科・英語分野でユニークな研究テーマを決め、3年生の4月から金曜日6・7限を使って取り組んでいます。現在のテーマは下の表のようになっています。

9月9日には課題研究発表会を行う予定です。

分野	研究テーマ		
物理	3Dに挑戦	スピーカー	ピタゴラスイッチの効果
	どうしたら速く走れるか	ピアノの研究	
化学	たたら製鉄	炎色反応	香水をつくる
	スチール缶から磁性体をつくる		
生物	ワックスの合成	ハムスターの生態	
地学	地球に関する映画の研究	未来の地球環境	
英語	日本語はどう異訳されるか		



III 文化祭での「サイエンスショー」

6月20日に行われた文化祭には、コース1年生が「サイエンスショー」を実施しました。今年で3年連続の取り組みです。

液体窒素を使った実験や、空気砲による射的、爆発実験を演示し、見に来られた方々に科学の面白さが伝えられるよう頑張りました。



IV 出張講義について

本コースでは、年2回、2年生を対象に大学等から講師を招いて出張講義を実施しています。昨年度は12月と2月に行いました。

第1回 (2009年12月17日)

講師：広島国際学院大学 佐々木健教授

演題：名水と環境



佐々木先生の軽快でわかりやすい講義に、皆聴き入りました。



「利き水」や硬水・軟水によるパン生地の違いをみるなど、楽しい実習もありました。

第2回 (2010年2月18日)

講師：おたふくソース株式会社 児玉 優子様、川本 和晴様

演題：第一部「ソースの開発について」 第二部「お好み焼のいろいろ」



ソースの開発についてわかりやすく説明がありました。原材料の試食も。



お好み焼の歴史やうんちくを学んだり、実演など楽しい時間でした。

国際理数コースのねらいとコースに適する生徒像

国際理数コースは、将来にわたって必要な力である「課題や疑問を自分の力で解決する能力」をつけることを目的としています。生活の中にある疑問点や問題点の中から課題を見つけ、粘り強く探究し、他人にわかりやすく説明することが、理数コースの活動の中心です。この活動により、高校生に必要な「考える力、判断する力、表現する力」をつけていきます。日常生活の中で考えた疑問（例えば、「どうすれば速く走れるのだろう」など）を実験や調査などを通して探究することに興味がある人にはぴったりです。

また、海外修学旅行を経験することにより、異文化や他者を理解し、グローバルな視点で日本や自分の置かれている課題を考えていくこともコースのねらいです。

作成：広島市立美鈴が丘高等学校国際理数コース部

学校のWebページ：<http://www.misuzugaoka-h.edu.city.hiroshima.jp/>